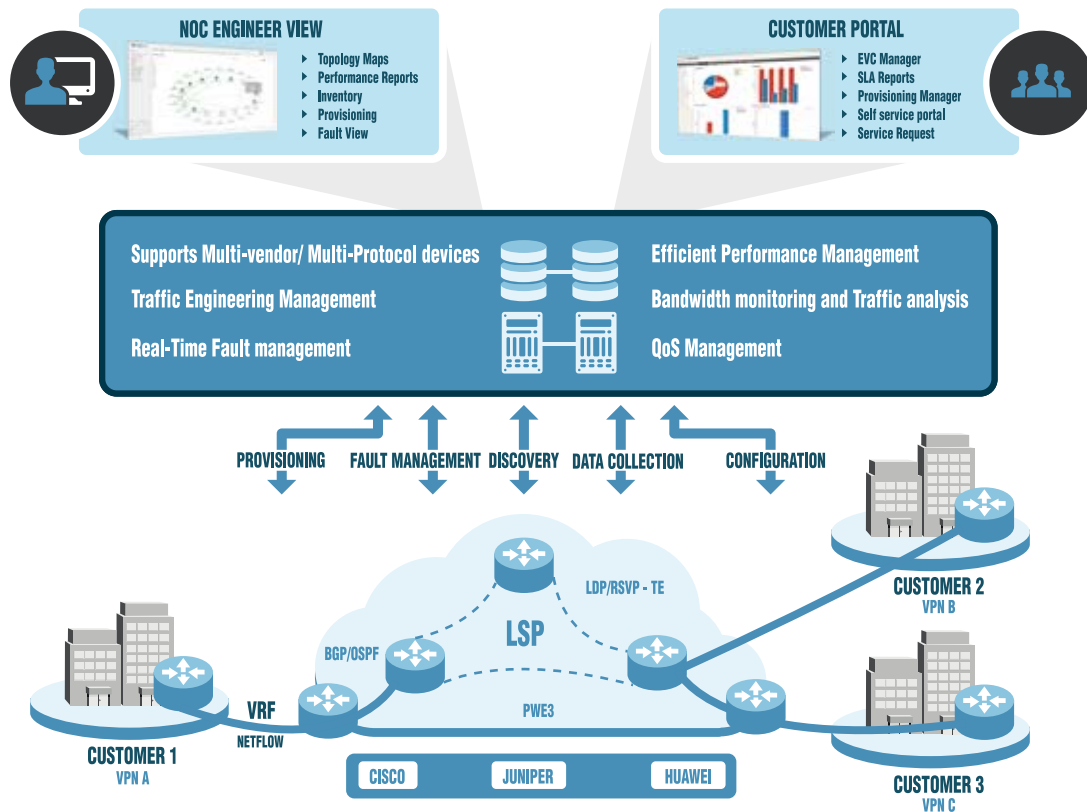


# WebNMS

## MPLS管理 ソリューション



### 概要

WebNMS MPLS管理ソリューションは、マルチベンダのデバイス向けに優れたサポートと革新的なソリューションを提供します。

人には他人とは異なるそれぞれのニーズがあるように、企業にも企業ごとに異なったニーズがあります。WebNMS MPLS管理ソリューションにはカスタマイズオプションがあり、各企業やサービスプロバイダの個別の要件に対応できます。

WebNMSでは、広範な監視および診断機能を実行できます。MPLSネットワークやサービスのQoS管理に加えて、MPLSネットワークデバイスのディスカバリやリアルタイム障害管理、マウス操作によるサービスのプロビジョニング、MPLSデバイスやサービスの監視が可能です。

徹底した監視とシステムが想定どおりに機能していることを保証することによって、生産性を向上させます。また、優れた障害管理システムを装備しており、問題や障害が発生した際にその根本原因とともに問題や障害を検知します。そのQoS管理機能で顧客のSLAを満足できるようサービスプロバイダを支援します。

## オートディスカバリ

ネットワークの全デバイスのディスカバリを支援し、監視作業を開始します。これにより作業時間がかなり短縮され、作業効率も向上します。

## ネットワークトポロジービュー

複数のグラフィカルなトポロジービューを作成し、大規模ネットワークの統合ビューの取得を支援します。物理マップやLSPマップ、サービスマップのようなマップを閲覧できます。

## 障害管理

ネットワークの監視が簡単になります。問題の根本原因とともに障害や問題の緊急通知がなされるので、迅速にその解決ができます。

## 性能管理

一貫した監視やジッタ遅延、グラフ表示のパケットロスメトリックスによって効率的な性能管理ができます。

## 構成

多数のデバイスを導入する際にテンプレートによって設定をサポートします。構成変更およびプロビジョニング作業はすべて監査ログを使用して監査できます。

## トラフィックエンジニアリング管理

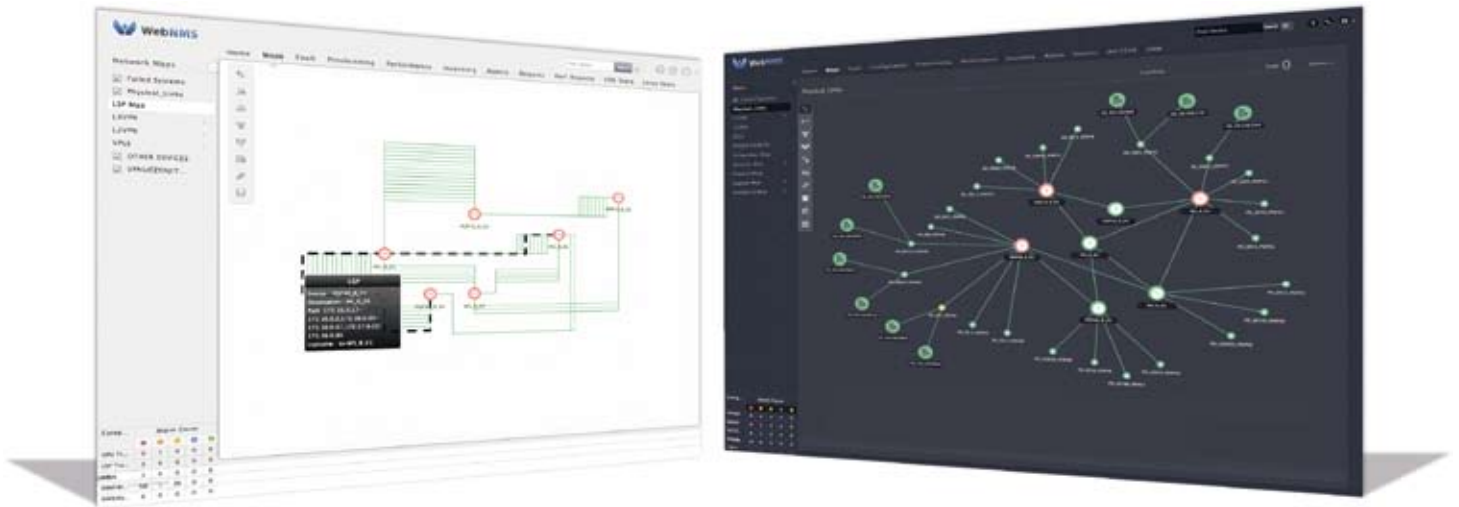
- PE、P、物理&論理LSP、およびLSPホップのオートディスカバリ
- PE、P、インターフェース、エクスプリシットパスのLSP障害のアラーム
- ネットワークトポロジービューと各トンネルビュー
- LSP、ダイナミックルーティング、スタティックルーティングのプロビジョニングサポート
- ソフトウェアバージョン管理とイメージ管理

## QoS管理

- Cisco IP SLAのディスカバリとJuniper RMON
- PEとPルータのQoSディスカバリ
- Cisco、Juniper、Huawei製ルータのQoSプロビジョニングテンプレート
- ジッタやQoSのリアルタイムレポート

## VPN管理

- L3VPN、L2VPN、VPLS、VRF、RT、RD、およびVRFインターフェースのオートディスカバリ
- VPNアラーム、CE-PEコネクティビティ、BGPセッションアラーム
- L3VPN、L2VPN、およびVPLSサービスのプロビジョニング
- メッシュ構成のVPNやハブアンドスポークVPNのトポロジービュー



## 帯域幅監視とトラフィック解析

- インターフェーススペシフィックレベルでネットワーク帯域幅とトラフィックパターンの監視
- トラフィックパターンとデバイスパフォーマンスの把握と理解を支援

## Cisco NBARレポート作成

- NBAR監視を使用するダイナミックポートを使ってアプリケーションを分類

## Cisco CBQoSレポート作成

- 当社別製品「NetFlow Analyzer」のCBQoS機能を利用したQoSポリシーの有効性を確認
- その結果、ネットワークトラフィックの優先順位を決定

## マルチベンダサポート

- Cisco、Juniper、Huaweiなど主要ベンダをサポート

## セキュリティ

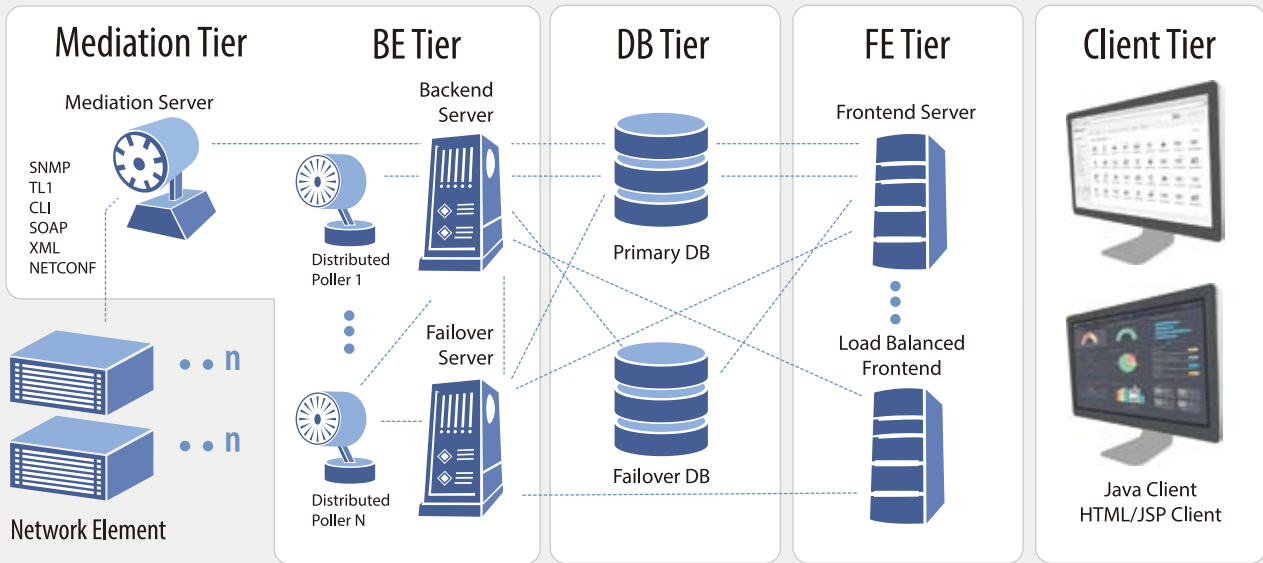
- 明確に規定されたセキュリティドメインで、厳重に管理されているリソースへのアクセスをきめ細かくコントロール

## 疑似回線 (Pseudo Wire) サービスの管理

- MPLSネットワークに設定された疑似回線 (Pseudo Wire) サービスのディスカバリーを可能にし、疑似回線サービスのパフォーマンスを監視

## リアルタイムのグラフ表示

- 分かりやすいグラフの作成で、パフォーマンスメトリックスのスナップショットを表示



## WebNMSでは、

1台のサーバの導入から複数台のサーバの導入まで、導入のさまざまなニーズをサポートするよう設計されています。

## 高可用性を実現する マルチサーバの導入が可能

WebNMS Serverは3層のサーバコンポーネントから構成されています。被管理システム間のプロトコルの仲介をする管理サーバ（仲介）層、データベーストランザクションとカプセル化サービスを提供するバック・エンドサーバ層、およびクライアントセッション管理サービスを提供するフロント・エンドサーバ層です。

拡張性を極端に高くするために、バック・エンドおよびフロント・エンドサーバを複数台導入することもできます。サーバが冗長構成を採用することもできるので、1台に障害が発生しても、ほかのサーバコンポーネントにフェイルオーバーすることができます。この機能は、高可用性アプリケーションには重要です。



## 概要

被管理ネットワーク サイズ	小中大規模のキャリアグ レードネットワーク
最大被管理 オブジェクト数	数百万
同時操作可能な 最大クライアント数	数百 ※フロント・エンドサーバの台 数により拡張可能
サポートデータベース	Oracle, MySQL, Post- greSQL
クライアントの種類	HTML Javaアプレット Java Webスタート アプリケーション

## 動作環境

アプリケーションサーバ	JBoss
Webサーバ	Tomcat
Webブラウザ	Internet Explorer Chrome Firefox
Java Runtime Envi- ronment	Oracle JRE 1.7.0/1.6.0/1.5.0
Java Development Kit	Oracle JDK 1.7.0/1.6.0/1.5.0, Open JDK 6
XMLパーザ	JAXP1.4準拠のパーザな らどれでも可
ランゲージサポート	JDK 1.6 Internationalization API

## 標準機能

ディスカバリ	ポリシー
トポロジー	SNMPサウスバウンド
マップ	CLIサウスバウンド
障害管理	Eclipseプラグイン
構成管理	レポート作成
性能管理	セキュリティ管理
プロビジョニング	フェイルオーバ
TL1ノースバウンドおよ びサウスバウンド	CORBAノースバウンド およびサウスバウンド
JMXエージェント ※システムおよびアプリケー ション監視機能パックと Syslog監視機能パックは別の ライセンスになります	分散フロント・エンド 分散ポーリング EJB導入

## サポートオペレーティングシステム

Windows	7/Vista/Server 2008
Red Hat Linux	9.0/6.0/5.0/AS 4.0/ Fedora Core 9
Solaris	10/11

## ハードウェア要件

CPU	Windows 2.0GHz以上 Linux 2.0GHz以上 Solaris 1.2GHz以上
メモリ	1GB RAM以上
ディスクスペース	600MB以上

●記載されている製品やユーザーに関する情報は事前の予告なしに変更する場合があります。●本文中に記載の法人、ロゴ、製品の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

ゾーホージャパン株式会社

〒220-0012  
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-1 みなとみらいセンタービル13階

☎ 045-319-4612 (WebNMS 営業担当)

✉ [jp-casales@zohocorp.com](mailto:jp-casales@zohocorp.com)

🌐 <http://www.webnms.jp/>